

東電、原発画像隠し?

事故直後、しばらく一般公開を停止

東京電力福島第一原発事故で、事故直後の原発周辺を映した画像を東電が隠していた疑いが29日、参議院予算委員会で浮上した。

東電は、福島第一原発に設置したカメラで周辺の様子を撮影し、同社のウェブサイトで一般公開してきた。現在は生中継が見られるが、事故当時は1時間に1回、静止画像を更新していただけだった。

予算委で質問した風間直樹議員(民主)によると、この静止画像についても、事故直後からしばらくはパスワードを入力しないと見られないようシステム変更されたという。

枝野幸男経済産業相は「出していない部分を出すよう促し、出さないのなら法律により公開を求める」と答弁。原子力安全・保安院は東電から調査を始めた。